

(13) 総合情報学部 メディアコンピュータシステム学科

T

ア. 平成23年度から平成24年度までの教育課程

(2011～2012)

区 分		卒業要件単位数	
		コンピュータサイエンス 教育プログラム (CSコース)	情報処理教育プログラム (IPコース)
総合科目	A群	10単位	8～24単位
	B群	12単位 (英語科目)	12～28単位
	C群	4単位	4～8単位
	計	26単位	24～40単位
基礎専門科目	必修科目	22単位	8単位
	選択必修科目	(a) 4～6単位	(c) 14～20単位
		(e) 4～8単位	
	選択科目	0～4単位	4～12単位
計	30～40単位	26～40単位	
専門科目	必修科目	46単位	14単位
	選択必修科目	(b) 16～26単位	(d) 16～26単位
	選択科目	— (△)*	18～48単位
	計	62～72単位	48～78単位
合 計		128単位	128単位

注意* CSコースでは、専門科目の選択科目△は卒業要件単位数として数えられません。

2年次 進級要件	休学・停学期間を除き1年以上在学していること。
3年次 進級要件	1. 休学・停学期間を除き2年以上在学していること。 2. 総修得単位50単位以上を修得していること。
4年次 進級要件	1. 休学・停学期間を除き3年以上在学していること。 2. IPコースの卒業要件単位数のうち88単位以上を修得していること。
卒業要件	休学・停学期間を除き4年以上在学し、卒業時に所属コースの卒業要件単位数128単位以上を修得していること。(なお4年次途中でのコース変更は認めない。)

(注1) 履修制限

- ① 一年度内に履修できる単位数は、60単位を超えないものとする。ただし、留年生については、この限りではない。
- ② 2年次特例生(注3②)及び、3年次生は卒業研究を行うことを原則とする。ただし、卒業研究履修中に、授業時間割に編成された卒業研究の時間において、次の授業科目については履修することができる。
 - (a) C++プログラミング演習1、C++プログラミング演習2、コンピュータシステム実験、ゼミナール演習2
 - (b) 教職課程における免許取得上の必修科目
 - (c) 2年次特例生においては、62から修得単位数を減じた単位数分の授業科目。ただし、これは(a)の授業科目も含まれるものとする。

(注2) 留年生に対する特例処置

- ① 留年した1年次生で前年度までの進級要件に対する修得単位数が20単位以上の者は、1年次配当科目のほか、2年次に配当された科目のうち30単位以内の授業科目を履修することができる。ただし、次の授業科目の履修は認めない。
論理設計1・演習、論理設計2・演習
- ② 留年したことのある2年次生で前年度までの進級要件に対する修得単位数が50単位以上の者は、2年次配当科目のほか、3年次に配当された科目のうち30単位以内の授業科目を履修することができる。ただし、次の授業科目の履修は認めない。
組み込みOS演習、ネットワークプログラミング演習、Javaプログラミング演習、組み込みソフトウェア開発演習1
- ③ 留年したことのある3年次生は、4年次に配当された授業科目の履修を認める。ただし、次の授業科目の履修は認めない。
組み込みソフトウェア開発演習2、グループプログラミング演習2、特別研究
卒業要件を満たした場合、卒業することができる。

(注3) 他学科履修

4年次生は総合情報学部の他学科の開講科目の中で、学科で指定された科目を同一年度に10単位まで履修することができる。なお合格した場合は専門科目の選択科目(△)として単位認定する。